

就活生必見

ボートレース業界で働きたい方へ

10月は就活生にとって内定が出る時期。ボートレースファンなら、一度は「ボートレースに関わる仕事がしてみたい!」と思ったことがあるのではないだろうか。ボートレース業界には、華やかな舞台に立つレーサーだけでなく、ボートやエンジンを整備する技術者、レース運営をサポートするスタッフ、ファンとの架け橋となる広報やメディア関係者などの存在も欠かせない。今回はボートレース業界に携われる4つの職種を紹介する。



競走会

ボートレーサー

施行者

メディア

一般財団法人 日本モーターボート競走会

競走会とは?

国土交通大臣より競走実施機関として指定された唯一の組織。本部（ボートレーサー養成所を含む）、モーターボート関係調整室、全国5か所の支局（支部・BTS）で構成されている。

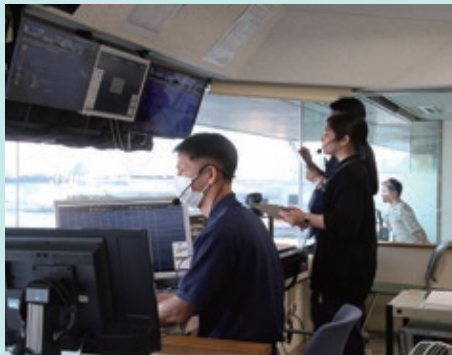
主な業務内容

レースの審判や番組編成、ボート・モーターの検査はもちろん、選手あっせん・養成所での養成業務や、ボートレースの企画・広報、さらにはBTSなどの場外発売場の運営も行っている。

競走会の職員になるには?

筆記試験・面接試験があり、採用される

とレーサー同様、養成所で1年間の訓練を受ける。乗艇訓練もちろんあるが、審判実技や整備などにより多くの時間が割かれることになる。訓練終了後は、東京にある本部のほか、全国の支部・支局やレース場などで勤務する。



競走会のWebサイト
求人案内はこちら



ボートレーサー

レーサーは約1600人おり、未経験からプロを目指せるアスリート。倍率は40倍で平均年収は1900万円だ。募集は年に2回、5月と11月に試験が実施されている。今回は139期の募集を例に取り上げてみよう。

募集期間・人数

2025年1月4日～3月7日・50名程度

応募資格

身長：175cm以下
裸眼視力：0.8以上
年齢：15歳以上 30歳未満
体重：男子は49kg以上57kg以下
女子は44kg以上52kg以下
年齢：15歳以上30歳未満
(1995年10月2日～2010年4月1日生まれ)
※他にも学歴、聴力、弁色力、スポーツ推薦試験制度もあり。

試験内容など

- ▼第1次試験(5月11日)・試験会場は全国の主要都市
①学科試験(高等学校入学試験程度の内容)、
②体力試験
▼第2次試験(6月9日～11日)・試験会場はボートレーサー養成所
①適性試験、②体力試験
▼第3次試験(6月12日～13日)・試験会場はボートレーサー養成所他
①人物試験、②身体検査、③適性検査
合否は7月上旬、入所は10月1日
▼訓練生活
基礎訓練(入学～3か月)、応用訓練(4か月～7か月)、
実践訓練(8か月～卒業)
1年間の訓練生活を経て、2026年11月に晴れてレーサーデビュー!

9月に修了式を迎えた135期生は、全国から約1034名の応募があり、51名(男子38名・女子13名)が入所した。実際に修了したのは29名(男子20名・女子9名)だった。每期約50名が試験に合格し養成所に入所するが、1年間の訓練を修了してボートレーサーとしてデビューするのはそのうちの半数程度であり、改めてその道が狭き門であることを感じた。



ボートレーサー
募集のWeb
サイトはこちら



先輩の声 レーサー 松本純平

選手になるまで

大学時代マクルールでバイトをして、ボートレースを知りました。実際にレースを見に行ったら、エンジン音や非日常感など、今まで経験したことのない雰囲気に圧倒されました。レーサーに憧れるようになり、ここから、どうやらレーサーになれるか試験内容を速攻で調べました。

受験対策

年齢的に一発で合格するしかなかったので、人生で一番真剣に取り組みました。マクルールのバイト中も握力を鍛えるためのハンドグリップを握ってました(笑)。常に鍛えていたので、毎日5〜10キロ走っていました。原付バイクに乗るのもやめて、移動は全て走るようにしていました。

試験

1次試験は「これは絶対受かったな」と思いました。周りを見ても「みんな試験対策してないのかな？」って思うほどの自信でした。2次、3次は採点基準がわからなかったもので、不安だらけで…。動体視力やボートの操縦も、本当にうまくできているのか心配でした。泊まりがけだったので、掃除もきちんとしたり、食事もうっかり食べら

れない初めての環境でした。

養成所の生活

最初の1か月はとにかく無我夢中で、あまり覚えていないです。徐々に慣れてくると起床動作もスムーズになりました。とにかく生活に慣れることが一番大変でしたね。

マクルールのバイトで生きたことは？

当時、周りの人たちは自分よりボートに詳しい人ばかりだったので、レースの見方が自然と身についたかもしれません。「もっとここを走れよ」「こうターンしろよ」といったお客さんの声を聞く機会も多くありました。レーサーとして実際に水面を走ってみると、走る位置を取るのがいかに難しいかわかりました。水面から見える景色と、上から見る景色の違いをすぐに理解できたのは大きかったですね。お客さん目線の走り方を知っていたことが、自分にとってアドバンテージになったと思います。

選手として長く続けるために大切なこと

負けず嫌いは大事ですね。ただ悔しいだけではなくて「悔しい、だからどうするか?」と常に考えないと。それがこの仕事のやりがいです。それを実践している人が、この業界では強いと思います。どんな仕事にも言えることですが、すべてはトライ&エラーの繰り返しで、挑戦しない限り成長はないです。でも一番大事なのは、ケガをしないことです。

施行者

施行者とは？

全国24ボートレース場で、レース主催権を持つ35(県1、市19、町1、組合9、企業団5)の地方自治体。

主な業務内容

開催日の告知、宣伝。舟券の発売、払い戻し。選手を集め、賞金も支払うなどお金に関わる業務を行っている。

施行者の職員になるには？

ボートレースを開催しているのは地方自治体であり、職員は地方公務員。例えば、福岡では福岡市の職員として働くことになる。ただし、ボートレースは自治体内の数ある部署の一つであり、必ずしもその部署に配属されるとは限らない。また、2~3年ごとに異動する可能性もある。しかし、県や市の職員にならなくても、地方公営企業である企業団に所属すれば異動なく働き続けることができる。



ボートレース福岡

ボートレース浜名湖のスタンド



浜名湖ボートレース企業団

浜名湖の施行者は浜名湖ボートレース企業団。1953年3月に静岡県知事の認可を受けて設立された地方公営企業であり、職員は地方公務員として働いている。ボートレース浜名湖を通じて静岡県を盛り上げ、地域の発展やさまざまな支援活動に貢献している。

企業団で働くには？

筆記試験、適性検査、集団討論試験、集団面接試験 個別面接試験があり、入団後はいずれかの部署に配属される。

施行者協議会の
Webサイトは
こちら



浜名湖ボートレース
企業団のWebサイト
求人案内はこちら



ボートレースメディア

ボートレースは、テレビ、新聞、雑誌、ラジオなど、さまざまなメディアで取り上げられている。地上波やYouTube、スカパー!ではレースの放送が行われ、ラジオでも熱い実況が楽しめる。また、新聞記者が選手に取材を行い、レースや選手に関する記事を執筆している。さらに、本誌のようなボートレース専門雑誌も存在し、多様な情報を提供している。本誌編集長の渡辺の前職は新聞記者である。

新聞記者の主な業務内容

レース場での選手への取材、紙面に掲載する記事や選手の談話の執筆、記事やデータの校正・確認、レース予想の作成など。

新聞記者になるには？

新聞社に入社する。某新聞社は面接だけで、公営競技の取材やライターとしての経験がある方が望ましいと記載があった。ボートの記者としての募集であれば、配属先はレース場になるが、新聞記者という括りになると、会社によっては必ずしもボート部に配属されるとは限らない。渡辺もボートの記者を務める前はプロ野球を担当していた。

ファイティングボートガイド・平和島担当・長船記者



先輩の声 合同会社DMM.com 高野僚氏



プロフィール
高野僚(たかの・りょう)
公営営業部マネージャー
1986年生まれ 38歳
埼玉県所沢市出身
前職はアイドルのマネージャー

—DMMとボートとの関係を教えてください。

弊社には今年11周年を迎えた「DMMぱちタウン」というパチンコ・パチスロのコンテンツがあり、2018年頃から同じ部署内で公営競技の動画制作などを行っていました。そして、20年にコロナ禍になったことで、各レース場さんの生配信需要が高まり、パチンコ・パチスロライターさんが出演する予想配信が多く始まりました。当時、各レース場さんがYouTubeアカウントを持っていない場合も多く、そのタイミングで「DMMボートちゃんねる」を立ち上げ、そのチャンネルで配信を請け負うことが多くありました。今は「ボートガマー代」や「松本バッチのボートでバッチこいX」や各グレードレースの配信、リアルイベントの運営などを中心に、企画を立てたりタレントさんのキャストティングも行っております。

—営業としてはどんなお仕事をされていますか？

広告代理店さんとタッグを組んで、レース場さんへ企画を提案をしています。

—今の会社を選んだ理由は？

ぱちタウンで募集があり、パ

チンコをはじめ、アミューズメント事業が好きだったのでDMMに興味を持ちました。DMMと聞いて「何か大きいことが出来るんじゃないか」という思いもあり、19年に入社しました。1年間はパチンコ業界に関わる仕事を担当していましたが、ボートレース事業部が独立するタイミングでボートレース担当になりました。

—今後の目標

業界的にDMMがボートレース事業を手掛けていることを知らない方も多いと思います。レース場が盛り上がることですべてのことにおいて、色々なことにチャレンジして、ボートの魅力をもっとたくさんの人に伝えたいです。どうしても動画配信事業のイメージが強いかもしれませんが、ボート業界のなんでも屋みたいな感じにはなりたいです。

—ボート事業部はどんな職場？

人数は20人ぐらいで男性が多く、働き方はシフト制です。エンタメ業界なので土日の稼働がどうしても多いですね。代休もきちんと取れますし、メンバーで交代しながら出勤、業務にあたっています。

—メッセージ

決まった商品売っている訳ではないので、一緒に1からアイデアを作って1000にして喜びを分かち合える人が嬉しいですね。ボート好きならなおさら大歓迎です。



マクール(ネプラス)では一緒に働く仲間を募集中!

マクール編集部って聞くと「舟券ばかり買って仕事してなさそう…」なんて思われがちだけど、意外と普通の会社です! レース場のポイントサイトを運営したり、攻略データの研究チームも発足しました! 現在は営業、エンジニア、プランナー、マツジュンも働いていたWeb更新業務も大募集中です!



求人内容は
こちら



他にもこんな求人がある

Google検索で「ボートレース 求人」で100件ほど出てたぞ!

- ・ボート、モーターの整備士
- ・レスキュー艇操縦、救助作業
- ・撮影やVTR操作など放送機器の操作
- ・レースウエアの洗濯スタッフ
- ・警備、清掃スタッフ
- ・艇運業務
- ・出走表の作成、備品発注などの事務作業
- ・場内レストランでの調理
- ・投票所運用スタッフ
- ・カメラアシスタント
- ・広告プロモーション企画営業
- ・選手宿舎での調理補助
- ・テレビ室オペレーター
- ・特別競走のイベント運営 (9月時点)



筆者も15歳でレーサーを目指しましたが、身長に阻まれ挫折。その後、別業界を経て34歳でネプラスにアルバイト入社。YouTube配信スタッフから2年でディレクターに昇進し、正社員になりました。13歳の頃から愛読していたマクールで働けることを嬉しく思います。皆さんといつかボートレース業界で共に働ける日を心よりお祈りしています!